神埼市議会だより あーやとり

令和7年 2月13日発行
3月 6月 9月 12月
2025 No.71

11月定例会

2月定例会は2月27日開会予定です。

発行／佐賀県神埼市議会　佐賀県神埼市神埼町鶴3542番地1　TEL0952−37−3596　編集／議会広報編集特別委員会

インターネット議会中継　本会議の模様を生中継（ライブ）及び録画で配信中!!　ぜひご覧ください。［神埼市役所ホームページ 神埼市議会 をクリック→ インターネット議会中継 をクリック］

議会が可決したのはどんな予算？

おもな補正予算を紹介します

11月定例会の補正予算総額　３億6,778万８千円

11月定例会は、令和６年11月29日から12月20日までの22日間開かれました。補正第７号で２億6，946万６千円を追加し、補正第８号で9,832万２千円を追加し総額233億2,103万円となりました。

令和６年７月８月災害への対応

〇農地・農業用施設災害復旧事業
・令和６年７月豪雨　7,403 万２千円
・令和６年８月台風　4,730 万円

異常な自然現象により被災した農地・施設への復旧を行い、経営の安定を図る。

	７月	８月	計（工事費）
農地	５箇所	４箇所	2,709 万２千円
施設	15 箇所	１箇所	9,038 万円

防火水槽の埋設工事

〇消防施設費
（117 万７千円：一般財源）

永年ご協力いただいた地域のみなさまに敬意を表します

民有地に設置している防火水槽が老朽化。地区と土地所有者との協議の結果、「埋設」で調い、当該工事に係る工事の予算。
（近隣に設置されている複数の消火栓で消火活動に支障がないことを確認の上）

レッドトルネードを応援しよう！

〇トヨタ紡織九州連携協定記念事業（37万５千円：一般財源）

令和６年９月26日同社ハンドボール部レッドトルネードSAGAに関する連携協定を締結し、地元を代表するスポーツチームへの関心を高め地域の活力向上を目指す。
１．市民応援デーを令和７年２～３月に設定し、市民200名を無料招待
２．入場者1,000名に市特産品ひしぼうろ、桑菱茶のサンプル配布

▲連携協定の様子

育て世界に羽ばたく神埼の子

債務負担行為とは、将来の財政負担を約束する内容を予算として定めておくものです。

〇神埼市小中学校英語教育推進事業
（債務負担行為　令和８年３月31日までを設定期間とし、2,138万８千円を限度とする）

平成23年度から小学校５、６年生、令和２年度から小学校３、４年生の外国語活動が正式に始まり、英語教育の充実が図られている。市独自の取組みである平成２４年度からの小学校１、２年生の英語活動も含め推進し、深化を図る取組みを令和７年４月から確実に行うにあたり、債務負担行為を設定する。

予算特別委員会のＱ＆Ａ

補正予算の審議について、質疑を抜粋して紹介します。

特別職及び一般会計職員人件費　8,568万１千円

（事業の目的）
　令和６年度当初予算で編成した人件費について、現在の職員数や職員配置に置き換えるとともに、併せて人事院や県人事委員会の勧告に基づく給与改定を行い、給与水準の適正化を図る。

Q　県内20市町の初任給基準（令和６年４月１日現在）によると、高卒は県内一律16万6,700円となっているが、大卒については、全ての町と多久市、小城市、神埼市だけが18万7,800円で、他市は19万6,900円となっている。神埼市も19万6,900円にできないのか。
また、ベースアップとの報道等であるが初任給のみの昇給か。

A　大学卒業程度の採用枠で採用された地方公務員は初任給の規定があり、神埼市ではこれまでに大学卒業程度の採用枠での採用試験はしていない。
神埼市では高卒、短大卒、大卒の方など広く応募してもらえるよう採用枠を高校卒業程度としており、その中で大学を卒業した人が採用された場合には年齢差等の規定に基づき加算されたものが大卒の初任給となっている。
ベースアップについては、国及び県に準じて初任給を始め30代前半ぐらいまでの職員の月例給が上がる見込みである。

農業用排水路維持管理費　764万５千円

（事業の目的）
　幹線的な農業用排水路の法落ち対策として、受益範囲が広く、公共性の高い農業用排水路等の維持的工事を行い、安定的な用排水路の機能維持を図る。

Q　事前排水により水位が低下したことで、木柵工事を実施した水路法面が崩壊しているが、市としてどのように考えているのか。

A　県産材の有効活用の一環として木柵工事を実施しており、木柵工事が悪いとは考えていないが、今後対策については一定の議論を重ねていきたい。

文化財総務費（城原倉庫屋根復旧工事）　246万３千円

（事業の目的）

城原倉庫の屋根を復旧し、発掘調査で出土した土器や石器などの遺物を適切に保存するものである。令和６年８月29日の台風により城原倉庫の瓦が飛び、屋根が開口した。全体的に屋根瓦が浮き、飛散の恐れがあることが分かったため、復旧工事を行うための設計業務委託と設計監督員支援業務委託の予算を計上する。

Q　城原倉庫屋根復旧工事委託料として、246万３千円が出てきている。
市役所にも一級建築士の方が勤めておられるため、その方に確認してもらったうえで、復旧するか建て直すかを検討してもらいたい。耐用年数が経っているため、改築の価値があるのか、再度検討していただききたい。

A　今回、屋根が飛んだ部分を復旧する。柱、梁等については、鉄骨がまだしっかりしているため復旧工事を行い、できる限り使っていきたい。

▲復旧工事の対象となる城原倉庫

医療用消耗器材費　46万円

（事業の目的）

脊振診療所は、高齢化や生活習慣病等により医療需要の増加が予測される中で、今後も地域に密着し、愛着の持てる医療施設として市民の健康管理や適切な医療の役割を果たしていく必要があり、そのために必要な予算を確保し地域医療の充実を図る。

Q　どのような器材を購入するのか。また、高齢化や生活習慣病等により医療需要の増加が予測されるとのことだが、患者数が増加しているのか。

A　購入する器材は、酸素濃縮器および持続陽圧呼吸療法治療器である。医師の判断によりこの機械を必要とする患者が増加した。

常任委員会のＱ＆Ａ

各常任委員会での審議について、質疑を抜粋して紹介します。

総務常任委員会

総務常任委員会では、条例案件４件、その他案件１件について審議を行いました。

神埼市職員の給与に関する条例等の一部改正について（全員賛成）

Q 神埼市はこれまで大学卒業程度の採用枠での職員募集はしておらず、高校卒業程度の採用枠で募集しているが、今後もその方針に変更はないか。
また、大卒で公務員を目指す人が大卒初任給について神埼市と他市を比較した場合、少しでも高い他市を選択する可能性があるのではないか。

A 新たに大卒の採用枠で職員を採用した場合、前年度採用職員との給与額が逆転する等のケースが考えられ全体的な調整等、慎重な検討が必要となるため当面、現行のまま行いたい。
今年度、一般行政職で７名程度の募集したところ約70名の応募があり、倍率は約10倍であった。大卒初任給としては１万円くらい差があるがそこまでの影響はないと考えている。

神埼市税条例の一部改正について（全員賛成）

Q 地方税法等の一部改正に伴う神埼市税条例の一部改正とのことであるが、この条例の一部改正によって税収の増減等、神埼市にはどの様な影響があるか。

A 神埼市で確定申告をしていただく中で寄附金控除の申請は多々あるが、公益信託での控除というケースは今のところ見受けられないことから特に影響はないと考えている。

※公益信託とは、個人や法人が金銭等の財産を、学術、技芸、慈善、祭祀、宗教その他一定の公益目的のために、信託銀行等に預け、信託銀行等はその公益の目的に従って、その財産を管理・運用し、公益的な活動を行う制度。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、その他案件４件について審議を行いました。

脊振町高齢者生活福祉センター「そよかぜ荘」の指定管理者の指定について（全員賛成）

Q 職員の資格状況は介護福祉士が２名、看護師が１名の状況にあるが、突然利用者の具合が悪くなった場合、この３名で対応できるのか。

A そよかぜ荘は、介護福祉士２名、看護師１名のほかに事務局職員も在籍している。また、すぐそばには脊振診療所があるので連携して対応することが出来る。

神埼市民の願いを意見書にして国に届ける

〈意見書第４号〉

現行の健康保険証の新規発行停止の見直しを求める意見書

マイナンバー関連法の改正により、本年12月２日をもって健康保険証の新規発行が停止されております。

しかし、保険証機能のマイナンバーカードへの一本化は、本来任意であるはずのカード取得を事実上義務化することにほかならず、いつでもどこでも誰でもが必要な時に医療を受けられる我が国の国民皆保険制度が機能不全に陥ることにつながりかねません。医療現場ではいまだにカードによる資格確認が正確にできない（機械の故障・誤作動・ひもづけ誤り・登録遅延など）といったトラブルが後を絶たず、マイナ保険証の利用率は、2024年６月時点でも9.9％にとどまるなど、多くの国民、市民の不安が払拭されているとは到底言えません。このまま現行の健康保険証を廃止にすれば、医療現場はもとより、保険者や自治体などでも大変な混乱が起こることは避けられないものと考えられます。

また、マイナ保険証を持たない人への資格確認書の交付や、マイナ保険証の利用登録者に送付される「資格情報のお知らせ」など、現行の健康保険証を存続させれば、わざわざ新たに税金を投じる必要はありません。

よって、本市議会は、政府に対し、現行の健康保険証の新規発行の停止について見直しをおこない、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和６年12月20日

佐賀県神埼市議会

衆議院議長	額賀福志郎　殿	参議院議長	関口　昌一　殿
内閣総理大臣	石破　　茂　殿	総　務　大　臣	村上誠一郎　殿
厚生労働大臣	福岡　資麿　殿	デジタル大臣	平　　将明　殿

賛否については以下のとおりです

意見書番号	議決結果	野副芳昭	平山文也	吉田守	大野秋人	末次勝	増田紀之	徳川博人	副島英樹	服巻玉美	中野均	野口英樹	白石昌利	原口ひさよ	田原和幸	木原憲治	永沼彰	福田清道	佐藤知美
意見書第４号	賛成多数	＼	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○

野副芳昭議員は議長のため採決に加わっていません。

議会改革検討特別委員会の活動報告

委員長　平山　文也

12月17日に開催した特別委員会においては、第1分科会、第2分科会の調査・研究項目について、それぞれ経過報告を行うとともに、11月1日、2日及び10日の3日間に市内7カ所で開催した市民と議会との意見交換会について、各班長から結果を報告し、全議員で確認を行いました。

まず第1分科会では、議会ICT化の推進について、12月より端末及びシステムの運用を開始しており、3月定例会から一切の紙資料の配布を行わないことを再度確認しております。議会基本条例については、条例の趣旨を明確にする議論を深め引き続き調査研究していくことで確認されております。

次に第2分科会では、本年度の政務活動費通信費補助を廃止することで全委員で確認しております。

議会報告会については、97名の市民の参加を見て、皆様方の声を直接拝聴することができました。皆様方の意見や要望については、議会として所管事務調査を行う上での重要な課題の一つとして位置づけ引き続き取り組んでいきます。

本特別委員会では、市民に分かりやすく、より一層「開かれた議会」を目指すために閉会中に随時、各分科会及び特別委員会を開催し、調査検討を重ねてまいります。

▲議会改革検討特別委員会の様子

議会の動き（令和6年10月～12月）

10月9日	議会広報編集特別委員会
15～16日	産業建設常任委員会行政視察研修（鹿児島県・宮崎県）
18日	第241回佐賀県市議会議長会（神埼市）
22日	議会広報編集特別委員会
23日	防衛省全国施設協議会中央要望活動（東京都）
28日	京都府南丹市議会行政視察受け入れ
30日	議会広報編集特別委員会
31日	全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会（鳥栖市）
11月1日	議会報告会
2日	議会報告会
5日	議会改革検討特別委員会第1分科会
6日	議会広報編集特別委員会
10日	議会報告会
15日	総務常任委員会
18～19日	議会広報編集特別委員会行政視察研修（福岡県・和歌山県）
20日	産業建設常任委員会
	文教厚生常任委員会
21日	大阪府箕面市議会行政視察受け入れ
21～22日	議会運営委員会行政視察研修（長崎県）
26日	議会運営委員会
11月29日～12月20日	令和6年11月第5回神埼市議会定例会
29日	全員協議会
12月4日	議会広報編集特別委員会
9日	議会改革検討特別委員会第2分科会
10日	産業建設常任委員会
11日	令和6年度予算特別委員会
13日	総務常任委員会
	議会改革検討特別委員会第1分科会
16日	文教厚生常任委員会
17日	議会改革検討特別委員会
	全員協議会
18日	議会運営委員会
20日	全員協議会
27日	議会改革検討特別委員会第1分科会

産業建設常任委員会行政視察研修報告

委員長　服巻　玉美

10月15日から16日にかけて宮崎県日南市及び鹿児島県南九州市で行政視察研修を行いました。

まず、日南市では「歴史的建造物を活用した官民連携した持続可能なまちづくりについて」をテーマとして視察研修しました。

日南市は現在も城下町の中に武家屋敷が点在し保存されておりますが、老朽化が課題であったとの事です。自治体が建物の修繕を行う従来の方法から『民間』に費用負担をしてもらう『発想の転換』をされたとの事であります。事業者には5年分の賃料相当分を日南市から補助を行うことにより、歴史的建造物を活用した事業に取り組みやすい仕掛けがなされておりました。

つぎに、南九州市では、「公民連携によるパークマネジメントについて」をテーマに研修をしました。

視察のきっかけは、『住民提案がきっかけで来訪者が3倍超、南九州市・番所鼻公園』という記事でした。当時の公園は木々や雑草が伸び放題で景観が活かされていない状態だったそうで、公園を盛り上げたいとの思いで、樹木の伐採や公園内道路整備を地元の力で行ったそうです。

地元の努力に市と県も呼応し公民両輪の公園再整備が始まり、現在も「パークマネージメント会議」を通じて公園運営について議論を続けられているとの事です。

今回の研修は観光拠点についてをテーマに実施いたしましたが、本市の取組に大変参考となる研修となりました。

▲南九州市での視察の様子

議会運営委員会行政視察研修報告

委員長　中野　　均

去る、11月21日から22日にかけて、長崎県松浦市議会及び諫早市議会において、行政視察研修を行いました。まず、松浦市議会では「議会基本条例制定の経緯について」、松浦市議会内において、どのような検討がなされたのか調査研究しました。

平成30年2月の改選後、議員から「議会改革を行ないたい」との強い意見があったとの事です。改革内容は、議会基本条例の制定、タブレット端末の導入、市民アンケートの実施の3点で、改革目標達成のため特別委員会を設置したとの事です。

議会基本条例の制定により議員としてあるべき姿について「意識の共有」ができた事であり、他の事例を参考に自らの議会に合った内容にすることが重要であると説明されました。

次に諫早市議会では、「議会運営全般について」を研修しました。開会から閉会までは、本市議会と同様の流れで議会運営がされていました。

諫早市議会において、特に本市議会と審議方法が異なっていた部分は、予算決算についてで、予算決算常任委員会として設置してあり、委員会の中に3つの分科会を設置し、所管事項毎に審議され、分科会の審議結果を最終的に予算決算委員会で採決する方法でありました。また、常任委員会毎に調査研究テーマを設定、そのテーマに即した行政視察を実施し、各常任委員会から市長へ政策提案がされていた点は、非常に関心を持つ取組みであると感じました。

▲諫早市での視察の様子

議会広報編集特別委員会行政視察研修報告

委員長　佐藤　知美

11月18日から19日に、福岡県久留米市及び和歌山県和歌山市にて、「議会だよりの編集・発行」について行政視察研修を行いました。

久留米市議会では、令和２年に議会だよりのリニューアルに取組まれております。雑誌のようなデザイン、特集記事の作成、表紙に市民や市内で働く人の掲載や、高校生との意見交換会を行うなど、様々な取組を行われました。令和５・６年度に開催された議会広報コンクールではそれぞれ優秀賞・最優秀賞を受賞されております。親しみやすいと感じる編集や、市民との接点を持つ工夫など、今後の取組において大変参考になりました。

和歌山市議会では、議会だよりの内容の見直しを行い、手に取りやすい表紙の工夫、特集記事の掲載などに取り組まれ、平成30年から３年連続で、議会広報コンクールの優秀賞等を受賞されました。また、議会広報の一環として、主権者教育に取組まれております。小学生から高校生に向けてそれぞれテーマを設け、将来の地方自治を担う子どもたちに向けて地方議会への理解を深める取組みを行われています。当市でも、子どもたちとの交流会の開催なども検討したいと考えております。

今回の研修で学んだことを活かし、親しみやすい議会だよりを目指して、編集作業を行っていきます。

▲和歌山市での視察の様子

神埼市区長会との意見交換会を行いました

神埼市区長会より、議会改革及び議員定数について神埼市議会との意見交換会を開催したい旨申し入れがあり、去る 12 月 23 日（月）に行いました。

神埼市区長会から提出された下記の７項目の事前質問に基づき、議会のこれまでの取り組みとこれからの対応などを中心に、区長会役員 13 名と、議会代表として正副議長及び各常任委員会委員長の５名により意見を交換することができました。

市民の皆様のいろいろな意見を把握されている区長の皆さまたちとこのような場を設けていただいたこと大変ありがたく感じたところです。

今後、今回の意見交換会にて拝聴したご意見も踏まえながら議会として充分議論を重ねより良い議員活動の方策を進めていきます。

区長会からの意見内容

①議会基本条例の必要性　②反問権、反論権の必要性　③議員の口利き防止方策
④成果の見える議員活動の強化　⑤若い人が立候補できる環境づくり
⑥議員報酬の引き上げの必要性　⑦議員定数は適正か　など

神埼市議会【議会報告会・意見交換会】を開催しました！

去る11月１日・11月２日・11月10日の３日間に、市内小学校区７か所を３班体制で、議会報告、市民と議会の意見交換を開催し、97名の市民の方の参加がありました。

今年度は、集落の自治公民館等での開催をしたことや、11月10日の日曜日の午前の開催を試みたことから、参加者の増に繋がったのではと思っております。

今回の意見交換会については、道路整備（千代田西１号線）の進捗状況や人口減少対策、集落内クリークの環境悪化、河川の危険個所の確認や対応の要望、水害対策として排水機場の早急な整備など多くの意見を伺うことができました。

この意見を全議員で内容確認し所管の委員会での内容検討とともに、執行部と情報共有し、課題の改善に努めてまいります。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今後も皆様の声を議会活動に活かしてまいります。

▲千代田西部小学校区での開催の様子

▲千代田東部小学校区での開催の様子

みなさまのご参加
ありがとうございました！

令和7年度当初予算について

議員　市長就任後初めての当初予算編成、市長公約も含めて短期的・長期的視点からどのように具体化を進められていくのか。

市長　まず取り組んだのは、私の考えを部長と共有するため部長級と面談を行い、意識の共有と担当部としてのビジョンを語ってほしいことや神埼市という会社の経営者の一人として部長が責任感をもって取り組んでほしいし新しいことにチャレンジする組織になってほしい、そういうヒアリングをした。

当初予算編成にあたっては、事業のスクラップアンドビルド、類似事業の統合、市民の声をしっかり踏まえた事業を考えてほしいことを申し上げ、さらに懸案事項多々あるが、一つずつ着実に進めるため優先順位をつけている。そのひとつ目が神埼高校跡地の活用、長崎街道空き家活用、スケートボード整備、そして旧庁舎跡地活用、これらを指示し、さらに子育て支援の充実とDXの推進を意識して欲しいこと、さらに長期的には、道路とダムを含む河川の整備、計画的に着実に整備が見える形となるように、しっかり各部長がそれらを意識して予算編成に取り組んでほしいことを申し上げている。

私自身も試行錯誤しながら神埼市の将来の発展の布石となるようしっかり取り組みたい。

整備が待たれる旧庁舎跡地

人材育成には、計画的な予算措置を

議員　人材育成について、現状はどのように行われているのか。

中島総務企画部長　自治体が直面する課題は多岐にわたっており、特に市民サービスの向上や、地域の発展には職員一人一人の能力向上のため、各種研修会に積極的に参加し、職員自らが主体となり、能力開発や自己啓発に取り組んでいる。

議員　現地調査型研修会は、どのように実施されているのか。

山田総務課長　佐賀県市町振興協会が主催するもので、自治体が抱える課題について、先進地の視察を通じて、課題解決のための政策提案力の向上に努めている。

議員　人材育成は日々の積み重ねが必要であり、そのためには研修費等の予算措置が必要となる。市長の考え方について伺う。

市長　職員も視野を広げることが神埼市の発展に、何よりも大事だと思い、世の中の動きをしっかり把握した、行政サービスが提供できる人材を育てるため、予算についてはしっかりと確保するように努める。

新規採用職員研修の様子（令和6年9月）

市道沿いの除草は地元負担を軽減できないか

議員　「公役で市道沿いの草刈りをやっているが、市道は本来なら市が草刈りをするべきではないか」という意見がある。地元では、高齢化等で公役に草刈り機を持参する人が減少し、市道沿いに限らず一人当たりの草を刈る面積が増えつつある。そこで市道沿いの草刈りの実施状況とそれに伴う年間経費について市全体ではどの様になっているか。

嶋産業建設部長　市道の実延長は約490㎞であり、除草作業については、城原川、田手川の堤防兼用道路などは年3回、業務委託にて実施し、その経費は817万3千円である。また、市道の中でも交通量の多い幹線道路や見通しが悪くなった交差点等は4月から12月の間に会計年度任用職員が適宜除草等を実施しており、その経費は作業報告書等からの推計で約150万円になる。これら以外の市道のほとんどは地元の皆様のご協力のもと除草作業を行っていただいている。

議員　今後、人口減少や高齢化等で草刈り機を操作できる人の減少を踏まえ、市としての考えは。

産業建設部長　市内の集落、特に脊振地域においては、今後更に草刈りなどが困難な状況となり、集落内の環境維持が難しくなると推測され深刻な課題と認識している。この課題は県内他市でも同様であることから今後も他市と情報交換を図り短期的、中長期的な対策も含めて有効な打開策を模索していきたい。

草刈り作業

子どものインフルエンザワクチンに助成を

議員　インフルエンザが流行する季節となった。親は子どもが罹患しないよう、ワクチン接種をし、予防に努めておられる。一回の接種に費用は7千円前後必要。県内15の市町ではワクチン接種に補助制度を設け2千円程度の一部助成をしている。神埼市もぜひ助成制度を作るべきである。

佐々木健康増進課長　市で子どものインフルエンザワクチンの接種費用の一部、2千円を助成した場合、市内対象者18歳までの子どもさん約4千7百人のうち、6割が接種した場合、接種者は約2千8百人となり、助成額を1回2千円で試算すると約563万円程度となる。

議員　この金額程度の助成によって、子どもの罹患予防、学級閉鎖など、教育への影響軽減、親にとっては子どもがインフルエンザに罹患しなければ仕事を休まずに済む等、総合的にみて助成額以上の効果があるのではないか。

市長　私は就任以来、様々な施策の中でも、まず子育て支援をしっかりやる施策に軸足を置き、真っ先にこのインフルエンザワクチンの接種助成を考えていた。

　担当課でも検討し、私自身も検討している。子ども政策の中でも比較的優先順位は高いと思っている。財政面も含めしっかりと議論し判断をしていきたいと思う。

その他の質問
- 学校給食について
- 子どもの権利条例の制定について

農業振興について

議員　重点支援交付金を活用した農業経営収入保険の保険料補助について、市はどのような検討に基づき実施していないのか。

松永農林水産担当理事　重点支援交付金を活用した農業経営収入保険の保険料等補助の通知があったが、収入保険の加入条件は青色申告を行っている一部の農業者に限定されている。重点支援交付金の活用については、これまで同様多くの農家の経営安定と生産意欲の向上に資するための取組みへ活用すると判断しており、農業経営収入保険の保険料補助への活用は見送ったところである。

議員　令和5年度予算にて、スマート農業推進事業に取組んだが、継続する考えはないのか。

農林水産担当理事　令和6年度においては、更なる農地の集積集約化による農業の規模拡大、中山間地ではスマート農業に適した農産物の新たな生産方式の導入など、全国的な取組み事例などを参考に調査研究を行っている。

議員　本市基幹産業である農業を守るため、市としてどう取組んでいくのか。

市長　近年の地球温暖化の影響で、いまだかつてない農業環境が厳しいことは認識している。神埼市は山間部があれば、平坦部もあることで、農業従事者が減るなかスマート農業に取組む必要は、避けては通れないと考える。民間企業を訪問して、最新機器の状況、価格や、機器の仕様環境など検討し、どうやって神埼市の農業を盛り上げていくのか考えていきたい。

スマート農業機械を活用した農作業の様子

市長が神埼市に寄せるビジョンについて

議員　市長が就任して半年が経過したが、今、神埼市にとって、一番必要と思われること、また、神埼市を発展させるためのビジョンは何なのかを質問する。

市長　市長に就任して最初に感じたことは、積極的な情報発信があまりなされていないこと、次にIT技術を活用した業務の効率化、ペーパーレス化の取り組みが遅れていること。さらに、職員の働きやすい環境があまりできていない。

　また、神埼市発展のためのビジョンについては、基礎的なインフラである道路の整備が必要だと思っているため、周辺自治体の首長と連携して、国県への要望活動が必要であると思う。それと大雨時には、国営水路が河川化し、毎年のように広範囲にわたり浸水していることから、老朽化した排水場の更新と新設を国や県に働きかけていきたいと思う。さらに、人口減少対策として子育支援、教育の充実、さらに神埼市全体の活性化のために土地利用計画の見直し、企業誘致といった産業施策による雇用創出による若者の定着に取り組んでいきたいと考えている。特に私は子育て中のママへの支援が一番大切であると思う。これは少子化対策にもつながると考える。

小桜保育園新築と市道千代田西1号線工事

将来の神埼市の発展を考えて整備する必要がある

議員　中小河川改修事業に伴う「中地江川の姉川上之橋」「馬場川の新橋」の架け替えについて、神埼市の将来まちづくりとしての改修計画はどう考えているのか。

架け替え計画予定の姉川上之橋

嶋産業建設部長　姉川上之橋の架け替えについては、橋梁前後の道路幅員や交通量調査の結果を踏まえ、幅員4・5mから5mに拡幅する計画で協議している。馬場川の新橋は現況幅員6mの架け替え計画についても交通量の再調査を行い、将来的な道路計画を踏まえた上で検討する。

議員　姉川上之橋では前後の道路幅員が5m程度あり、橋梁幅員を5mにすると端的な考え方で進めていると思う。西郷の南部カントリーまでは7mでその先は5mで「上之橋」を通って、伊賀屋駅や佐賀に抜けられるため、交通量が多く地元から道路改良の要望が上がっている。私は橋梁整備は長時間必要であり、道路計画を早く行うべきと思う。また、「馬場川の新橋」も小津ケ里団地など、多くの住宅団地があり、将来のまちづくりを考えて進めるべきと考えるが。

市長　橋梁架け替えについては、土木事務所にも見直しは間に合うと確認した。駅周辺は開発の可能性が十分あるので、あの辺り7mで通せば、大分状況が変わってきて、新たな住宅建設も進む期待も持っており改めて検討していく。

公共施設の安全対策について

議員　上西交差点付近の市道に設置してある縁石に多く接触痕跡や破損が多数あるが、道路管理者として安全対策はどう対応するのか。

産業建設部長　交差点から約50m区間棒型の視線誘導標の設置、青色の反射板設置と区画線の引き直しを行なう。

市内グラウンドの整備を求める

議員　脊振グラウンドは、市外からも硬式野球チームが利用されているが、駐車場は狭く、グラウンド内は、雑草も生えて、危険なグラウンドとなっているが、改善策は。

平山教育部長　脊振グラウンドは、年3回、除草作業を行っており、駐車場は、約7台が駐車可能な状況である。

千代田グラウンドの壊れたベンチ

市長　内野のところに草があると、硬式野球をするにおいては、非常に危険があると感じていた。

議員　千代田グラウンドは、駐車場は広いが、駐車線のロープが切れたり、埋もれている。また、ベンチの破損が多々あるため、改善を求める。

坂井スポーツ振興課長　ベンチは、少しずつだが更新している。ご指摘のベンチは、確認し改善をしていきたいと考えている。

脊振グラウンドの状況

神埼橋歩道橋について

議員　神埼橋や歩道橋は、塗装の剥がれや著しいサビがある。市としての対応は。

嶋産業建設部長　市民の方々からも、同様の意見が寄せられている。その都度、道路管理者である国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所へ報告を行い、橋梁点検の結果に基づき対応をされている。

新規保険証の発行停止に伴う今後の課題と対応は

議員　保険証の新規発行が停止されマイナ保険証を持っている方が、「資格確認書」がもらえるならマイナ保険証登録を解除する動きがあるが神埼市の現状は。

宮地市民福祉部長　市における国保、後期高齢者医療での解除申請の状況は、11月末時点で、国保で4名、後期高齢者医療で4名の方が解除申請を出されている。

議員　登録解除の理由はどの様なものか。

森田市民課長　解除理由として、暗証番号の管理が厳しい、また施設入所されている方がマイナンバーカードを施設に預けたくないという理由になっている。

議員　制度の一本化によって、保険証を持たない無保険者が生まれる危険性を感じるがどのように考えるのか。

市民課長　当分の間は、資格確認書を本人の申請によらず、市が職権交付することになるので無保険者が生じることは無いと考えている。

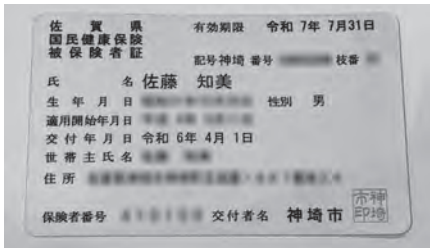
議員　今回の新規保険証の発行停止の措置は、国の一本化ありきで進められ、これ自体が誤りであり、国民の中に様々な不安がある問題を国が対処できていない事も問題だと思うが市長としてどの様に考えているか。

市長　保険証をデジタル化するという方向性は間違っていないと思う。

　その上で、一つ大きいのは進め方が非常に悪いと思っている。さらに国民の方々の不安が払拭できていない、カードのメリットも示すことができていない、これが大きな混乱を招いている原因になっている。

　国の方針で進められている状況であり、市民の皆さんに寄り添って混乱が生じないように丁寧に対応することに尽きると思っている。

その他の質問
・放課後子ども教室の現状と課題について



新規発行が停止された保険証

ゼロカーボンシティ宣言について

議員　ゼロカーボンシティとは、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルを目指す事、その旨を首長もしくは地方公共団体から公表された都道府県、または市町村のことを指している。今の削減水準からすれば目標達成は難しく、広く企業また市民の方々にも協力をお願いすることが大切だと思われるが市の考えは。

宮地市民福祉部長　ゼロカーボンシティ宣言の根拠となる地球温暖化対策推進に関する法律で、都道府県及び市町村は、その区域の自然的・社会的条件に応じて温室効果ガス排出の削減等のため総合的かつ計画的な施策を策定し、実施するよう努めるものとされている。本市において、温室効果ガス排出量の削減に向けた目標、取組を示した神埼市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、現在、市のみならず住民、事業所を含む脱炭素化社会実現に向けた基本方針や、具体的な目標を定める神埼市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定しているところで、策定が完了すれば指針を示すこととなり、神埼市地球温暖化対策実行計画の事務事業編及び区域施策編を踏まえ、ゼロカーボンシティ宣言の内容を整理し環境省への手続きを行い宣言したいと考えている。

その他の質問
・カスタマーハラスメント（カスハラ）対策について
・帯状疱疹ワクチン接種助成について

SDGsでも「気候変動に具体的な対策を」と目標が示されている。

市民の交通移動手段の実態について

議員　高齢者「心身障がい者」等移動手段のサポート事業について伺う。

八谷福祉事務所長　神埼市の高齢者人口は現在75歳以上が5，297人と増加している。高齢障がい課では生活支援体制整備事業に取り組み議論を重ね交通弱者の問題を取り上げている。「運転免許証返納後に必要な支援」についての今後展開すべき施策は福祉有償運送サービス拡大のための支援の検討、福祉タクシーの利用促進を図る。

議員　第3期神埼市障害者計画に外出、移動支援の充実を図る。とあるが具体的な施策を伺う。

大坪高齢障がい課長　障がい者が地域で孤立することなく生活するために、自動車運転免許取得・自動車の改造等に要する経費等の一部助成の充実、公共交通機関利便性の確保、外出支援サービスの充実、聴覚及び音声・言語機能障がいのある人への外出支援の4項目の実施を推進している。

議員　高齢者、障がい者移動手段の支援について、市長はどのような見解か伺う。

市長　先ずは市内で唯一の福祉有償運送サービス事業への支援、あるいは地域交通の在り方全体について、関係者の皆様と議論ができないかと考えている。

その他の質問
・集落内水路整備事業の計画について

高齢者の移送支援の様子

安全安心な筑後川堤防道路の早急な整備を

議員　筑後川堤防道路、主要地方道諸富西島線の迎島地区江見排水機場及び中津地区浮島排水機場横の堤防道路は、道路幅約3メートル1車線となっている。迎島地区は、30年以上前国・県・千代田町から堤防幅を広げる為、民家の立退き依頼があり20年以上前に終わっている。以後国・県・神埼市から何の説明もないがどのようになっているか伺う。

嶋産業建設部長　今後様々な機会を利用し筑後川堤防整備・道路整備の事業に向けて要望活動をしていく。

議員　国・県・神埼市で、地元説明会を開いてもらいたい。

産業建設部長　未整備区間の整備説明を、国にしていただくよう要望する。

議員　神埼市だけでも地元説明会をお願いできないか。

市長　説明できる内容が全くなく、今説明会を開くことは考えていない。

筑後川堤防道路主要地方道
諸富西島線未整備道路

帯状疱疹ワクチン接種助成について

議員　帯状疱疹ワクチン接種を50歳からの助成制度を検討できないか市長に伺う。

市長　来年度当初予算の議論の中で改めて費用対効果も含め、前向きに考えていきたい。発症された方の事、またワクチン接種したい方に寄り添う気持ちで検討を進めたい。

その他の質問
・神埼市の地方創生10年の取組・今後について

『魅力ある学校』をめざして

議員　「主役は児童・生徒」であり、学校教育現場は先生（職員）等で支え守られている。近年、暑さ対策として、様々なアイテムが選択できる制服を導入する学校が増えている。例えば、夏の開襟シャツをポロシャツにした学校がある。これからの制服は、機能性、多様性、経済性などの観点から、生徒がより快適な学校生活を送るために、既存の制服に加えて生徒に新たな選択肢を提供する、「共通標準服」導入に向けた取り組みの考えは。

平山教育部長　市内の中学校では、神埼中学校、千代田中学校の2校の男子生徒が半袖の開襟シャツを着用。また、女子生徒は3校ともに半袖のセーラー服を着用している。中学校の制服の決定や制服の改定に関する手続は、各学校の判断にて行われる。まず、在校生や保護者に制服についてのアンケートを実施して、その後、制服検討委員会を設置、学校の職員、PTAからの意見や要望、生徒会役員及び在校生からの制服を検討することについての意見等を集約する。さらには、新制服を着用する予定の新入生、また、その保護者にも意見を求める。これらを集約して制服改定に向けての準備を進めていくことになる。夏の暑さ対策のほかにも、児童・生徒の多様性への対応も視野に入れ、保護者の負担などを含めて、学校や児童・生徒、保護者の声をしっかりと集約しながら、今後、慎重に検討を進めたいと考える。

女子生徒半袖のセーラー服とポロシャツ

麦わら有効利用について

議員　麦わら有効利用が始まり数年後よりアサガオや、ホウズキと言った以前には生えていなかった雑草が、大量に発生するようになった。近年繁殖が増大しており、特に転作田にあっては真夏の猛暑の中の除草作業はかなりの重労働となっている。農業も高齢化と言う事は市も把握しているはずであり、転作田だけでも麦わら焼却を実施出来ないか。

松永農林水産担当理事　全国的にも環境意識が高まっている状況にあるため、本市としても麦わら鋤き込みは有効な取り組みであると考えており、今後も同様の推進を図っていきたい。

議員　焼却のメリット、デメリットを検証したことはあるか。

實本農林水産課長　これまで検証はしていないがメリットとして環境負荷の低減、土壌改良、肥料の削減資源の環境利用の促進が考えられる。デメリットとして、労働時間の増加、燃料コスト増が考えられる。

議員　環境意識と言われるが、麦わら焼却の二酸化炭素より、麦わらをすき込んだ際に水田から出るメタンガスのほうが10倍の濃度と言われている、焼却した方がはるかに環境汚染（地球温暖化対策）になるのではないか。

農林水産担当理事　神埼市の農業再生協議会やプラットホームの仕組みを取り入れながら様々な角度から議論していきたい。

転作田のアサガオの状況

議員紹介コーナー

議会だより 64 号でのご意見募集にて、「議員のプロフィールを紹介することで、より議会を身近に感じられると思う」というご意見があったことから、委員会で検討し、議員の紹介コーナーを設けました。今回は、議席番号 13 ～ 18 番議員を掲載します。３回に亘ってお届けした議員紹介コーナーは今回が最後です。神埼市議会議員を身近に感じていただけたら幸いです。

【氏名】　原口ひさよ
【期数】　５期
【校区】　千代田東部小校区
【趣味】　旅行・料理
【メッセージ】
環境に配慮した SDGS。出来ることから取り組んでいきます。

【氏名】　田原　和幸
【期数】　５期
【校区】　神埼小校区
【趣味】　落語を聞く
【メッセージ】
生まれ、育ち、生きる、その喜びを感じる“ふるさと”創り。

【氏名】　木原　憲治
【期数】　５期
【校区】　神埼小校区
【趣味】　音楽鑑賞
【メッセージ】
地方分権＆市民協働による神埼づくりを目指しています。

【氏名】　永沼　　彰
【期数】　５期
【校区】　千代田中部小校区
【趣味】　家庭菜園、
グラウンドゴルフ
【メッセージ】
市民の声を大切に、温もりを実感できる神埼市を目指したい。

【氏名】　福田　清道
【期数】　５期
【校区】　千代田中部小校区
【趣味】　読書、能楽、宝生流師範
【メッセージ】
戦争反対、核兵器廃絶、善隣友好の声を草の根から上げよう。

【氏名】　佐藤　知美
【期数】　５期
【校区】　仁比山小校区
【趣味】　読書
【メッセージ】
市民が主人公の市政へ。

編集後記

巳年よこんにちは！昨年は自然界の天変地異、俗世は青天の霹靂。辰年は荒れましたが、麗らかな新年を迎え、ぜひ一皮むけた年にしたいし、そうありたいと願うばかりです。

久しぶりに「議会だより（あやとり）」を担当し、編集日を嬉しく過ごしています。それもこれも委員長はじめ、委員や事務局の皆さんと率直な意見交換の中で歯に衣着せなかったり、オブラートを準備したりが互いの敬意の上で成り立っているワンチームとの確信あればこそと思う。

「あやとり」を手に取ってもらい、原稿執筆者（議員）、市長及び執行部の考え方や意図が手に取るように理解していただける、また、様々な方が「あやとり」のページをめくってくれる目標を掲げて、微力ながら尽力します。

（記　田原　和幸）

議会広報編集特別委員会
委員長　佐藤　知美
副委員長　末次　勝
委員　田原　和幸
委員　副島　英樹
委員　徳川　博人
委員　大野　秋人